

抄録

健康の社会的決定要因 (SDH) に関するプライマリ・ケア研究 (以下、SDH 研究) は、様々な領域、研究手法を用いて行われるものである。多岐にわたる SDH 研究の共通点を 1 つ挙げるとすれば、「健康格差を是正する目的で行われる研究」であり、すべての SDH 研究はこの目的を有していなくてはならないと考える。

複雑多岐にわたる実際の現象を、取り扱い可能な形に捨象し、分析と考察を行う以上、研究をするという営みには、少数者や例外の排除が、どのような形にせよ内在している。しかし、上記の目的を掲げる SDH 研究が、周縁化された集団 (marginalized population) の排除に無自覚であってはならない。

このシンポジウムでは、様々な SDH 研究 (データベース研究、臨床現場での研究、質的研究、医療者教育研究、症例報告など) において、どのように多様性を尊重し包摂することができるのかに着目し、シンポジストの経験と文献のレビューをもとに、これからの SDH 研究について議論を行う。